

夏期フランス語研修報告書

都市教養学部人文社会系仏文コース

2年 山戸達也

○はじめに

私は9月の約1ヶ月間フランス第2の都市リヨンに滞在しました。その滞在の概要について、授業・課外活動・生活の3点に分け、報告していきたいと思います。

○授業について

授業はリヨンカトリック大学付属の語学学校で、週に4回受講しました。初回の筆記と口頭の二種類のクラス分けテストを経て、自分の語学レベルに合った授業に参加することが出来ました。先生はネイティブスピーカーであり、生徒は世界の各地から集まっているため、国際色が強い空間が広がっていました。授業内容は DELF の教科書を基盤に、読解・会話・聞き取り・作文・発音など、多角的にフランス語の基礎力を伸ばすための勉強でした。

○課外活動について

リヨンカトリック大学の課外活動プログラムは非常に充実したものでした。リヨン近郊の観光地、自然の美しいアヌシーや中世の街並みを残すペルージュへのツアーや、リヨン市内の散策、美術館を巡るツアーなど、その全てに英語とフランス語を両方話せるガイドが同伴してくださり、個人的な旅行では知り難いような生の情報もこのプログラムを通じて知ることができたと思います。勿論、プログラムとは別に、週末といった授業のない時間を利用し、友達と一緒に旅行する人がほとんどでした。リyonは地理的にも旅行に便利な位置にあり、パリやブルゴーニュ地方、南仏の都市はバスやTJVで気軽に訪ねることが可能でした。

○生活について

リヨンカトリック大学の寮に宿泊していました。大学へは10分ほどの近さであり、さらに目の前にはローヌ川の美しい景色が広がっているため、毎日その川を越え登校するという贅沢を感じていました。また近くにはリヨン市内の一角であり、伝統的な街並みを保存している「旧市街」があり、その区画を散歩するだけでも大変魅力的なものでした。寮の施設はとても住み心地の良いものであり、リヨンカトリックの大学生のフランス人も多く下宿していたため、フランス人と交流することも出来ました。

リヨンという街の魅力は何とんでも、その「住みやすさ」です。治安は良く、交通機関は町中に整備され、大きなスーパーやレストランの数も多く、美術館・博物館・オペラハウス・映画館といった施設も豊富に揃っています。ある日、道端で知り合ったご老人の「観光をするならパリ、生活するならリヨン。小さいがその分良さが凝縮され、

人々はストレスのない、ゆったりとした自由自適な暮らしを謳歌し満足しているため、誰に対しても優しく暖かい。こんな素晴らしい街は他にない、私はリヨンを愛し、ここに住めることを誇りとしている。」というセリフを私は思い出します。

○終わりに

フランスのリヨンで過ごした1ヶ月は非常に実り多い期間でした。語学力の向上と同時に、現地の人々やその文化の一角に触れ、新鮮で刺激的な経験をしました。そして何より、リヨンという美しい街に惚れ、プログラムの場所としてリヨンを指定して下さったことへの感謝を抱くほどです。